株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家2-25-12 ☎(053)461-2325

事務所移転等のため、上記住所・電話番号が変わる場合がございます。
最新の情報に関しましては、弊社ホームページでご覧いただけます。

メールでのお問い合わせは下記まで
info@suzuki-music.co.jp

STPN-20/STPN-24
取扱説明書

この度はスズキ「くるりんティンパニあおぞら」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を末長く、そして安全にお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった取扱説明書は、大切に保管してください。

⚠ 注意　ご使用になる前によくお読みください。

本製品の上に乗ったり、物を乗せないください。
破損の原因となるだけでなく、ケガの恐れがあり危険です。

尖った物や堅い物で本製品を叩かないでください。
破損の原因となります。

スタンドを折畳む際に、手や指などを挟まないよう注意してください。
ケガの恐れがあり危険です。

本製品の内部（シェルの内部）に物を入れないでください。
破損の原因となります。

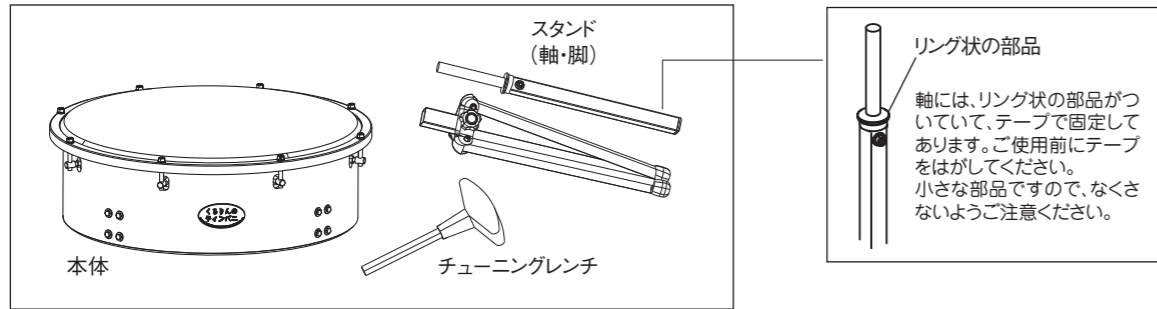
お手入れは乾いたやわらかい布で。
シンナー、ベンジン等は絶対に使用しないでください。変形、破損の原因になります。

使用後はボルトをゆるめて保管してください。
ボルトを締めた状態で保管するとヘッドが伸び、ヘッドの寿命が短くなる恐れがあります。

高い場所や不安定な場所で使用・保管はしないでください。
落下や転倒などをして、思わぬ事故につながります。

水分の多い場所や湿度の高い場所、極端に温度の高い場所での使用・保管は避けてください。
変形や破損の原因となります。

はじめに

■梱包内容を確認してください。

■本体にスタンドを取り付けます。

各部の名称とはたらき

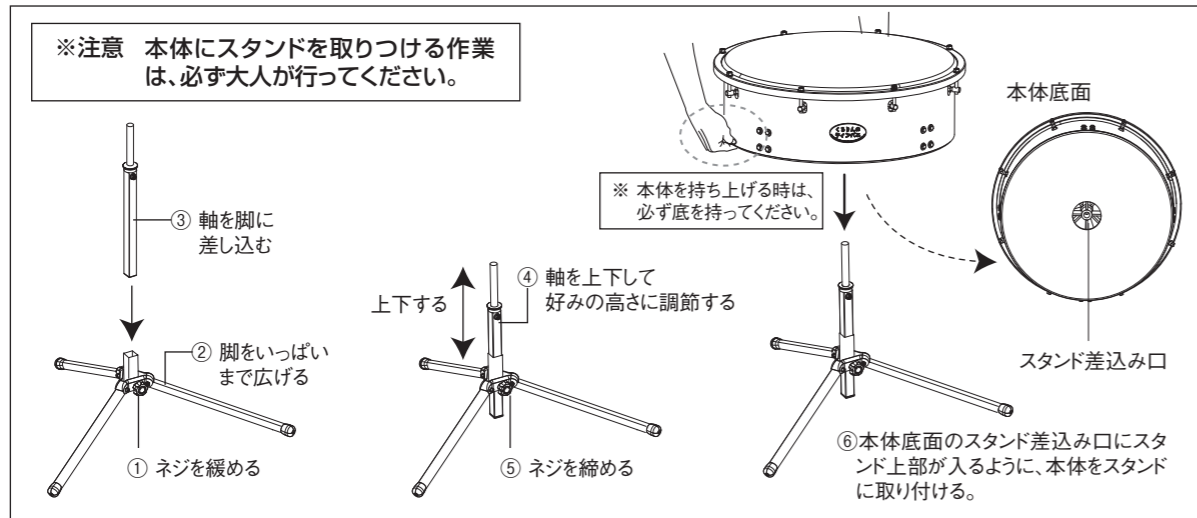
①チューニングボルト
シェルを回転させると、ボルトが締まったり、緩んだりしてチューニングされます。

②フープ
ヘッドを固定させるリング状の部品です。チューニングボルト用の穴が空いています。

③ヘッド
マレットで叩いて演奏します。ヘッドの張り方が正しくないと、いい音が鳴りません。

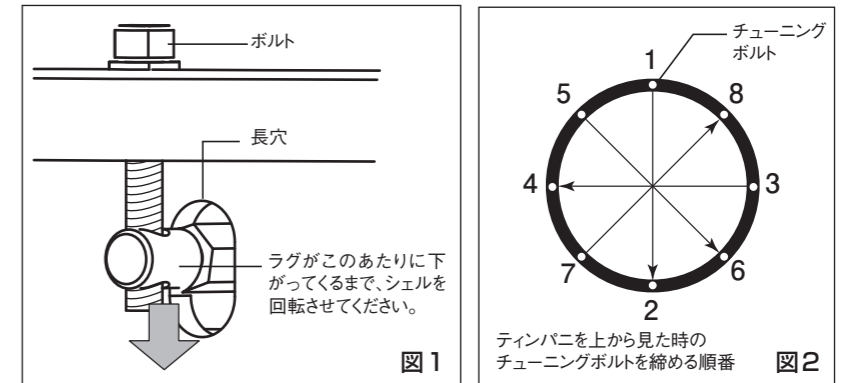
④ラグ
チューニングボルトの受け穴です。左右に回転させると、ラグが前後します。（右図）ラグの位置が正しくないと、ボルトがうまく締まりません。ラグの位置を調節してください。（出荷時には位置を合わせてあります。）

⑤シェル
木製の胴です。左右に回転するようになっています。回転するとチューニングボルトが締まったり緩んだりして、音程が変わります。

⑥スタンド
高さ調節と折りたたみが可能なスタンドです。

チューニングのしかた

(1) シェルを回していくと、ラグの位置が徐々に下がっていきます。
ラグが長穴の図1に示した位置あたりに下がってくるまでシェルを回してください。
次に、手でチューニングボルトをいっぱいまで締めます。すべてのボルトを均一に締めてください。ボルトを締める時は対角線の順におこなってください。（図2）
手ではボルトが回らないほど堅く締まっている場合は、チューニングレンチを使ってボルトをゆるめ、再度同じ手順でボルトを締めてください。

図1

図2

(2) すべてのボルトを均一に締めたら、シェルを回し、チューニングしていきます。図3の◌あたりを専用マレット ODM-3（別売）で軽く叩きながら、チューナーなどを使って鳴らしたい音に合わせましょう。
右（時計回り）に回すと音が高くなっていき、左（反時計回り）に回すと音は低くなっていきます。

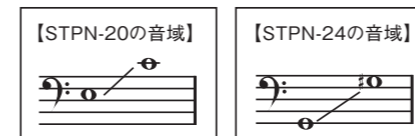
STPN-20の音域はe〜c^1、STPN-24の音域はG〜$g^{\#}$です。
（※チューナーによって音程の表記が異なります。）

※音域内で希望の音にチューニングしてください。音域以上の音にしようと無理にヘッドを締めたりすると、破損する恐れがあります。

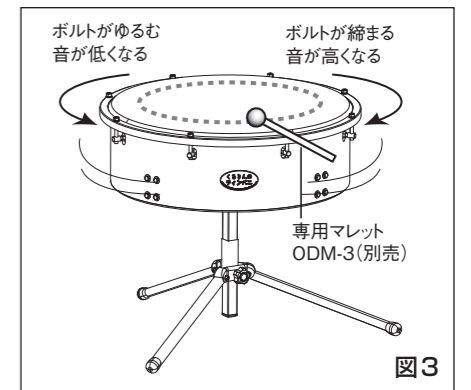
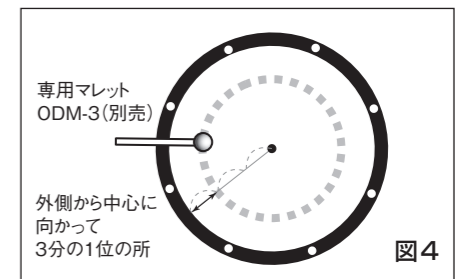
図3

■演奏のしかた

図4のように、外側から3分の1くらいのところ（右図の ◌ ）を、専用マレット ODM-3（別売）で、弾むように叩くと、よく鳴ります。
叩き方で音が変化します。いろいろな叩き方を試してみましょう。

■演奏のあとは

演奏が終わったら、シェルを左に回転させるか、チューニングレンチを使ってチューニングボルトをゆるめ、保管してください。ボルトを締めた状態で保管するとヘッドが伸び、ヘッドの寿命が短くなる恐れがあります。

図4

ヘッドの交換のしかた

(1) シェルを左に回転させるか、チューニングレンチを使ってチューニングボルトをゆるめ、チューニングボルト・フープ・ヘッドをはずします。

(2) 新しいヘッドをティンパニの中央に置き、その上からフープを乗せます。この時、フープの穴がラグのボルト穴の位置と合うようにしておきます。

(3) チューニングボルトをフープの穴に通し、「チューニングのしかた」と同じ手順でチューニングボルトを締め、音を合わせてください。

※ ヘッドは必ず次のものを使用してください
STPN-20:TI-2100-00
STPN-24:TI-2500-00